

2011 年合格目標
行政書士公開セミナーC
学習体験セミナー

TAC式民法プレ講義 & 効果的な学習計画

TAC行政書士講座

行政書士試験の概要

◆試験概要

(1) 概 要

実施日	11月の第2日曜日（平成23年度は11月13日（日）を予定）
試験時間	13時～16時（3時間）
受験資格	特になし
願書提出	8月上旬～9月上旬
試験内容	法令科目（46問、マークシート式および40字記述式） 一般知識科目（14問、マークシート方式）

(2) 平成22年度試験出題内訳

		五肢択一式	多肢選択式	記述式
法令 46問	基礎法学 8	2問	—	—
	憲法 28	5問	1問	—
	行政法 112	19問	2問	1問
	民法 76	9問	—	2問
	商法 20	5問	—	—
一般知識 14問	政治経済社会 28	7問		
	情報通信・個人情報保護 16	4問		
	文章理解 12	3問		
配点		1問4点	1問8点	1問20点

(3) 合格基準

- ・全体の60%以上の得点（300点満点中180点以上）
- ・ただし、一般知識科目で40%以上の得点をする 것도条件（14問中6問：24点以上が基準点）

民法プレ講義

テーマ 相殺

【4】 相 殺

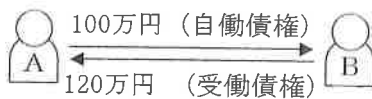
A. 意 義

【505条】

- ① 二人が互いに同種の目的を有する債務を負担する場合において、双方の債務が弁済期にあるときは、各債務者は、その対当額について相殺によってその債務を免れることができる。ただし、債務の性質がこれを許さないときは、この限りでない。
- ② 前項の規定は、当事者が反対の意思表示した場合には、適用しない。ただし、その意思表示は、善意の第三者に対抗することができない。

債務者が債権者に対して同種の弁済期にある債権を有する場合、その債権（自働債権）と債務（受働債権）を対当額で消滅させる一方的意思表示のこと。

〔相殺する方〕



〔相殺される方〕



本来、BはAに100万円を支払い、AはBに120万円を支払うことになるが、Aの意思表示だけで、100万円の対当額について相殺によって決済したこととする。このように、相殺には、決済の簡易化や当事者間の公平を図るといった趣旨がある。

B. 相殺の要件

●要件・効果●

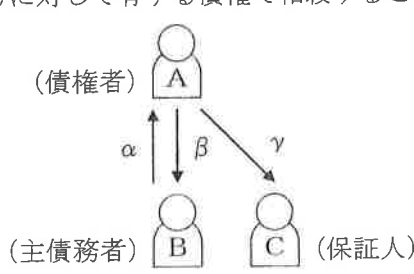
- 〔要件〕
- ① 債権が対立していること
 - ② 双方の債権が同種の目的を有すること
 - ③ 双方の債権が弁済期にあること
 - ④ 双方の債権が有効に存在すること
 - ⑤ 相殺を許す債務であること



〔効果〕 債権債務の消滅。

相殺適状の時にさかのぼって効力を生じる（遡及効）。

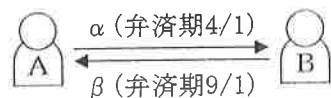
(1) 要件①について

原則	自働債権は、相殺する者が相殺される者に対して有する債権であることを要する。
例外	保証債務、連帯保証債務、連帯債務の場合、主債務者や他の連帯債務者が相手方に対して有する債権で相殺することができる。  Cは、自己がAに対して負うγ債務を、BがAに対して有するα債権と相殺することができる。

(2) 要件②について

目的が同種であればよいだけであり、債権発生原因の同一、債権額の同一、履行期の同一、履行地の同一などの要件は必要ではない。

(3) 要件③について

原則	相殺は履行の強制といった意味合いを有するため、自働債権・受働債権の双方が弁済期にあることを要する。
例外	自働債権が弁済期にあれば、債務者は期限の利益を放棄できる（136条2項）ため、受働債権は必ずしも弁済期にあることを要しない。  Aは9/1に払ってもいいし、早く払ってもいい 3/15 A相殺× B相殺× 6/1 A相殺○ B相殺× 9/10 A相殺○ B相殺○

実際の本試験での出題例

平成20年—問題34肢ア

相殺に関する次のア～ウの記述のうち、相殺の効力が生じるものをすべて挙げた場合、民法の規定および判例に照らし、妥当なものはどれか。

ア AがBに対して平成20年5月5日を弁済期とする300万円の売掛代金債権を有し、BがAに対して平成20年7月1日を弁済期とする400万円の貸金債権を有している。この場合に、平成20年5月10日にAがBに対してする相殺。

学習計画

1. 学習の順序

・初学者の方

①憲法、②民法、③行政法、④文章理解、⑤政治経済情報等、⑥商法・基礎法学、⑦直前期

・上級者の方

①憲法、②民法、③行政法、④商法、⑤政治経済情報等、⑥空き期間、⑦直前期
※文章理解と基礎法学は、通常期は過去問を解いておくぐらいで、直前期になってから模試や答練を通じて学習すればよい。

・独学の方

自由

2. 必要なツール

・初学者の方

①科目別テキスト、②過去問集、③六法、④過去問以外の問題集（基礎、まとめ、本試験スタイルの3段階）

・上級者の方

①科目別テキスト、②過去問集、③六法、④過去問以外の問題集（基礎、まとめ、本試験スタイルの3段階）、⑤判例集（憲・行）、⑥発展問題集（民）

・独学の方

①全科目を1冊でまとめたテキスト、②科目別に分冊化されているテキスト、③過去問集、④六法、⑤過去問以外の問題集、⑥模擬試験、⑦40字記述対策ツール

3. 学習のスタンス

・初学者の方

講義の予習は必要ありませんので、とにかく講義についていくことを目標に、復習に力点を置きましょう。学習ペースは、講義の進度に合わせれば大丈夫です。

・上級者の方

予習を中心に取り組み、講義を復習だと思って臨みましょう。一通りのカリキュラムを終え、直前期の模試・答練シーズンに入る前に、もう一度全体を見返せる期間を設定できるカリキュラムを考えましょう。

- ・独学の方

まずは、1冊にまとめられた市販テキストを使って基本事項から始め、それが出来てから、次に、科目別のテキストに移行して知識を広げていきましょう。最後は、また1冊のテキストに戻って広げた知識を絞り込みましょう。

4. 学習プラン

- ・共通

最初のステップとして、テキストを読む（講義を聴く）といったインプット作業と並行して問題を解くというアウトプット作業を行いましょう。1つのテーマを消化したら、そのテーマの問題を解いて、吸収した知識を問題を解ける知識へと高めていきましょう。この作業は、基礎問題で実施するのが良いです。その後、本試験レベルに近い問題を使って科目のまとめを行い、仕上げを行いましょう。

次のステップとして、インプット・アウトプットの繰り返しで一通りの学習ができたなら、本試験レベル以上の発展問題に取り組んでみるのもよいでしょう。

最後のステップとして、模試や答練を利用して、本試験スタイルで本試験レベルの問題を3時間で60問解くことと、その復習をして知識をしっかりと吸収することに取り組みましょう。

5. 学習コース

- ・初学者の方

迷わず総合本科生コースです。

- ・上級者の方

講義と演習をバランスよくという場合、上級本科生コースがおすすめです。レベル設定は、総合本科生と実戦答練本科生の中間です。

とにかく問題を解きたいという場合、実戦答練本科生コースがおすすめです。レベル設定は、上級コースよりハイレベルです。

- ・独学の方

基礎学習ツール、40字記述対策ツール、模試の受験を3点セットだと思って、学習に取り組むことがおすすめです。